

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	サムライ	Lv.1:	サムライ	性別	男
称号クラス				年齢	16
種族	フィルボル			境遇	師匠
出自 (効果)	狩人			目標	修行

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	13	13	7	13	11	8
ボーナス	4	4	4	2	4	3	2
クラス修正	1	2	1	0	1	1	0
他修正							
能力値	5	6	5	2	5	4	2

HP	60
MP	53
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	狂刃：黒笠 (S1)	至近	-1	11	0	0	0	0	0
左手	バーストルビー	10m	-3	20					
頭部	風音の帽子：S1：対抗 (威圧)				2			2	
胴部	フィルボトラベルジャケット：S1：ナグルファルII				2	4		2	
補助	クイックバンド							2	1
装身具	死者の爪								
能力値			6	0	5	0	4	10	10
スキル	スペシャライズ：刀		4	4				3	
その他	剣鬼の鍔			2					
総計(右)			9	17					
総計(左)			7	26	9	4	4	19	11
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ベルトポーチ	ポーションホルダー中身
バックパック	MPポーション
ランチボックス	MPポーション
ポーションホルダー	MPポーション
	HPポーション
ランチボックス中身	HPポーション
野菜	
野菜	理力符：水
ハウビア	ロープ
ハウビア	転移の呪符
	アクアビット

現在重量：	16	所持金：	1141	預金・借金：	
最大重量：	19				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ニンプル	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：作成時に行動値+3								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果：武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]								
バタフライダンス	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：回避判定+1D								
インタラプト	1	-	効果	視界	単体	自動	シナ1	
効果：スキル使用時、それを打ち消す。								
スピリット・オブ・サムライ	1	-	アイテム	-	自身	-		
効果：種別：刀の武器を獲得。								
フェイタルブロウ	2	6	マイナー	-	自身	自動		
効果：ダメ+SL*3、ダメージで放心								
ピアシングストライク	3	4	DR直前	-	自身	自動		
効果：ダメージ+ (SL) D6								
スペシャライズ：刀	4	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：刀の命中とダメに+SL								
ドッジムーブ	2	2	効果	-	自身	自動	非盾	
効果：回避判定時。達成値+SL+2								
アームズマスタリー：刀	1	-	パッシヴ	-	自身	-	刀使用	
効果：命中判定+1D								
トゥルーアイ	1	4	DR直後	-	自身	自動	刀、防衛1回	
効果：【刀の攻撃力÷2】点ダメージを軽減する。								
ファインドトラップ	1		パッシヴ					
効果：トラップ探知判定+1D								
トラッキング	1		パッシヴ					
効果：追跡時の判定+1D								
トレーニング：筋力	1		パッシヴ					
効果：筋力基本値+3								
リムーブトラップ	1		パッシヴ					
効果：トラップ解除判定+1D								

拙者はモンドと申すもの。ああ、口調が変わっておるのは気にせずに。  
 師匠からの受け売り・・・ではなく、その、生まれつきのサムライではないもので。「サムライっぽく」となると、こういうことしか…  
 拙者はエリンディル西方のフィルボルの狩人の生まれ。といってもまあ、子だくさんの家でござったから、当然ほっとかれる子もいるという具合でござってな。  
 そんなある日、拙者は家の近くの森で、倒れている一人のヒューリンを見つけて。  
 怪我しているのに驚いて、簡単に包帯を巻いて、あとご飯をあげたのが始まりでござった。  
 『一命をとりとめたその人は、自分に返せるものはこれしかないから、と、拙者に刀の手ほどきをしてください。』  
 『ニカイドウ・ヘイボウ流』、あるいは『ヘイボウ流』という流派であるらしいそれを、手取り足取り・・・というほど丁寧ではなかったでござるが、  
 少なくとも拙者にとっては、親よりもずっとずっと拙者と向き合ってくれてくださった。  
 このモンドという名も、師匠から、免許皆伝の証として頂いたもの。師匠のさらに師匠のお名前であったとか。

そして・・・免許皆伝を頂いた翌日。  
 師匠は、拙者に刃を向け申した。  
 ……わかってたのでござる。師匠は、既にサムライとして死んでいた。最初に拙者に助けられる直前に負った傷が、余程深手であったのでござろう。  
 師匠なりの、最後の試験だったのでござろうな。その身を賭して、拙者に、最後の業。仕組みは表紙抜けるほど単純で、しかしてその仕掛けは玄妙にして恐るべき、秘剣と呼ぶべき恐るべき『すくみの術』すなわち・・・

「心の一方」を、伝授したかったのでござろう。

拙者は正しく受け取った。心の一方をかけられ、それが何であるかを教えられ、それを解き、そして、師匠に返して、師匠を斬った。  
 師匠の亡骸の前で、泣きながら手を合わせたその時、師匠の亡骸を、闇の中から現れた魔族が持ち去った。  
 ニタニタと笑って、宝物でも手に入れたかのように。

